

議第2号

藤沢市景観計画の変更（藤沢市決定）
Fujisawa サステイナブル・スマートタウン景観形成地区

Fujisawa サステイナブル・スマートタウン景観形成地区

1 Fujisawa サステイナブル・スマートタウン景観形成地区の景観形成について

本地区は、パナソニック株式会社の前身である松下電器産業株式会社が、昭和30年代後半に、当時の先端産業として製造技術の粋を結集した工場を竣工し、40有余年以上(半世紀)にわたり本市を拠点とした企業活動を営み、産業都市・藤沢を支える大規模製造拠点として、本市の雇用や地域経済の牽引力を担っていましたが、平成20年3月に、大きな社会構造の変化への対応や次代への事業転換といった観点から、工場が閉鎖となりました。

その後、平成22年11月に藤沢市とパナソニック(株)が基本合意を結び、「Fujisawa サステイナブル・スマートタウンまちづくり方針(以下、まちづくり方針)」の策定(平成23年10月)、同地区地区計画の告示(平成24年3月)に至っています。

景観形成に関して、まちづくり方針では、次のまちづくりコンセプトと基本理念に基づき、個性とうるおいのあるまち並みの誘導を図ることとしています。

まちづくりコンセプト：スマートタウン構想の実現

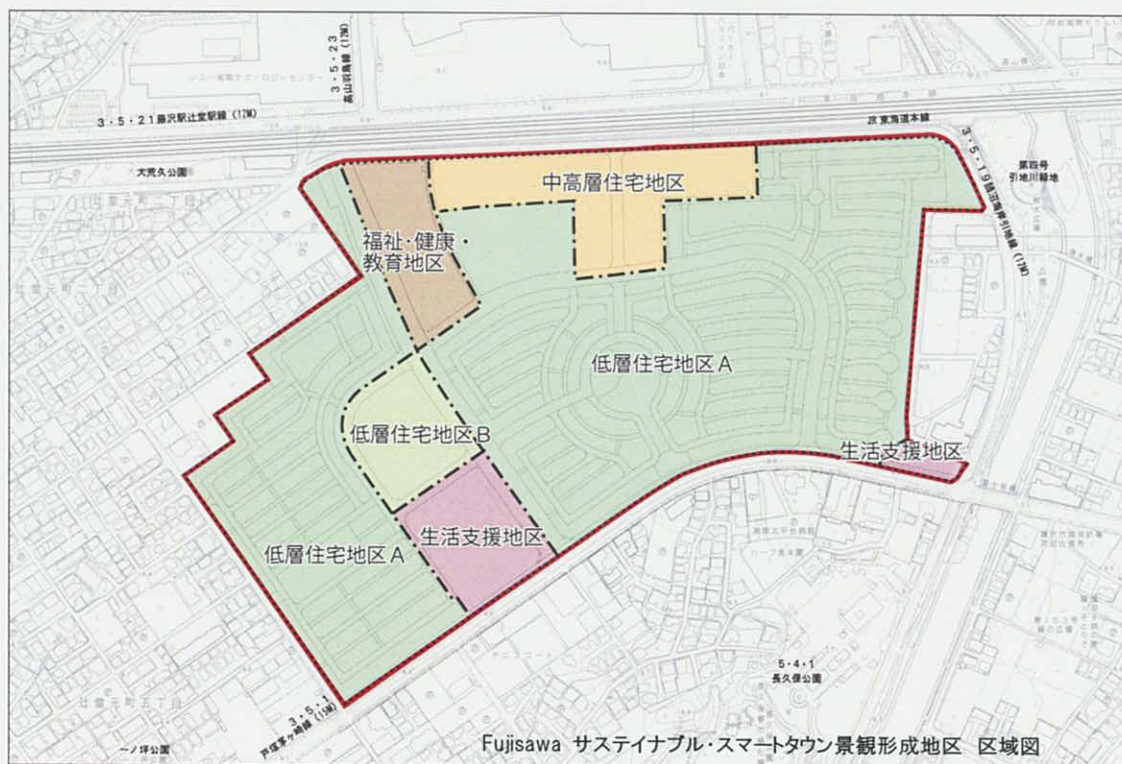
基本理念：CO₂排出量を可能な限り削減、エネルギーの自給自足、

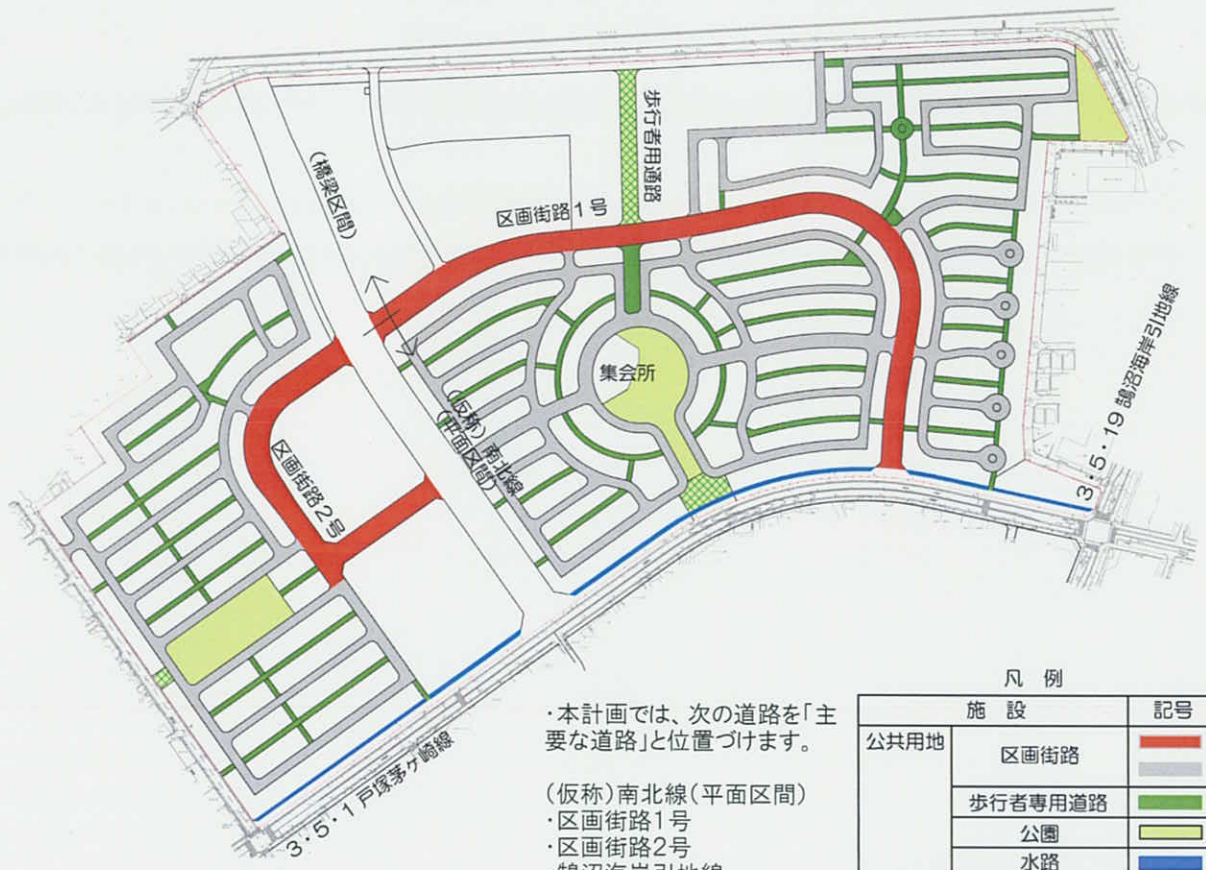
タウン・エネルギー・マネジメント概念の導入による効率的な運用

これらの経緯を踏まえ、本地区を藤沢市景観計画の地区別計画に位置づけ、景観形成を推進していきます。

2 地区の区域、区分と道路の構成

□地区の位置：藤沢市辻堂元町六丁目地内 □区域面積：約 19.3 h a





・本計画では、次の道路を「主要な道路」と位置づけます。

- (仮称)南北線(平面区間)
- 区画街路1号
- 区画街路2号
- 鷗沼海岸引地線

凡例

施設		記号
公共用地	区画街路	
	歩行者専用道路	
	公園	
	水路	
自由通路・広場		

道路等の構成図

3 景観形成の目標

景観形成の目標は、「①計画地の現況」、「②Fujisawa サステイナブル・スマートタウン（辻堂元町六丁目地区）まちづくり方針」と「③Fujisawa サステイナブル・スマートタウン地区地区計画」を踏まえて、次のように設定します。

①計画地の現況 (地域資源)	②Fujisawa サステイナブル・スマートタウン (辻堂元町六丁目地区)まちづくり方針	③Fujisawa サステイナブル・スマートタウン地区地区計画 H24.3告示
<ul style="list-style-type: none"> ・計画地周辺の水・緑 引地川緑地、大荒久公園、長久保公園 都市緑化植物園、計画地北側の既存の緑地帯等 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念 <ul style="list-style-type: none"> ・まち全体の「CO2排出量を可能な限り削減」をめざすまち ・自然環境と共生するまち全体における「エネルギーの自給自足」を推進するまち ・「タウン・エネルギー・マネジメント」概念の導入により効率的に運用するまち ○まちづくりコンセプト2 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境との調和を図るとともに、開発地区全体として調和のとれた美しい街並みの形成 ・JR東海道本線に沿った既存の緑地帯を保全するとともに、引地川の親水機能等を地域資源として活かしながら、新たに快適な環境・魅力的な景観を創造 ○景観形成の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくりコンセプト」と「基本理念」に基づき、個性と「うるおいのあるまち並みの誘導」を図る ○タウンマネジメントの仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・何十年も世代を超えて最新のエコや快適な暮らしがつづくサステイナブルな仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○土地利用の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境との調和に配慮した市街地を形成することに留意した土地利用を転換・誘導 ○公共施設等の整備の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・緑地・公園等：緑のネットワークの構築を図る。 ・その他：景観への配慮とライフラインの円滑な供給の観点から、架空線等のない快適な空間・景観形成を行う。 ○環境配慮の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の植生と生物多様性を考慮した緑化を図るものとする。また、敷地内及び建物の緑化、道路内の緑化による潤いある環境形成に努めるものとする。

キーワード
・計画地周辺の水・緑

キーワード
・サステイナブル・スマートタウンの基本理念を実現する景観形成
・周辺環境との調和
・地区全体として調和のとれた美しいまち並み
・個性と「うるおいのあるまち並みの誘導」
・何十年も世代を超えてエコや快適な暮らしがつづく

キーワード
・周辺環境との調和に配慮した市街地の形成
・うるおいのある環境形成
・緑のネットワーク、地域の植生、生物多様性

景観形成の目標

「何十年も世代を超えて、エコで快適な暮らしがつづくサステイナブルなまちづくり」と「創・蓄・省のエネルギーマネジメントとサービスが融合するスマートなまちづくり」を実現するための景観形成の目標は次のとおりとします。

サステイナブル・スマートタウンらしい、 新しいまちの景観づくり

- ・地域で親しまれている周辺の環境を取り込み、時とともに成熟していくまち並み景観を創出します。
- ・低炭素化への先駆的な取組みと良好な景観形成の両立に向けて、環境負荷低減に向けた設備機器がまち並みと融合し、特徴ある景観を創出します。

4 景観の骨格形成の方針

景観の骨格形成に関する方針は、次のとおりとします。

サステイナブルな景観づくり

地域で親しまれている周辺の環境を取り込み、時とともに成熟していくまち並み景観を創出します。

1 周辺の環境を取り込んだ景観づくり

一① 地区周辺に配慮した土地利用の形成

スマートタウン構想の実現を踏まえ、多様な機能を持つ地区を形成しつつも、周辺環境に配慮して低層住宅を主とした土地利用を形成します。

一② 緑の軸、緑の回廊軸の創出

地区周辺と地区内の緑をネットワークさせる「緑の軸」を創出します。地域に親しまれている地区北側の緑地帯は、引地川緑地と大荒久公園を結ぶ「緑の回廊軸」に位置づけます。

一③ 風の道の創出

地域の特性である海・川からのさわやかな風を取り込み、計画地内のクールアイランドの形成、微気候の緩和にも寄与する「風の道」を創出します。

一④ 緑の環境づくり

地域の植生と生物多様性に配慮した緑化を進めます。

2 時とともに成熟していくまち並み景観づくり

緑の成長を含めて、時とともに、美しく・うるおいのあるまち並みが成熟していく景観を創出します。

スマートな景観づくり

低炭素化への先駆的な取組みと良好な景観形成の両立に向けて、環境負荷低減に向けた設備機器がまち並みと融合し、特徴ある景観を創出します。

1 環境負荷低減に向けた設備機器とまち並みが融合する景観づくり

環境負荷低減に向けた設備機器が、建築物や緑を含めたまち並みと融合した（溶け込んだ）景観を創出します。

2 まちの特徴となる景観づくり

一① まちの出入口・交差点部でのゲート性、シンボル性の演出

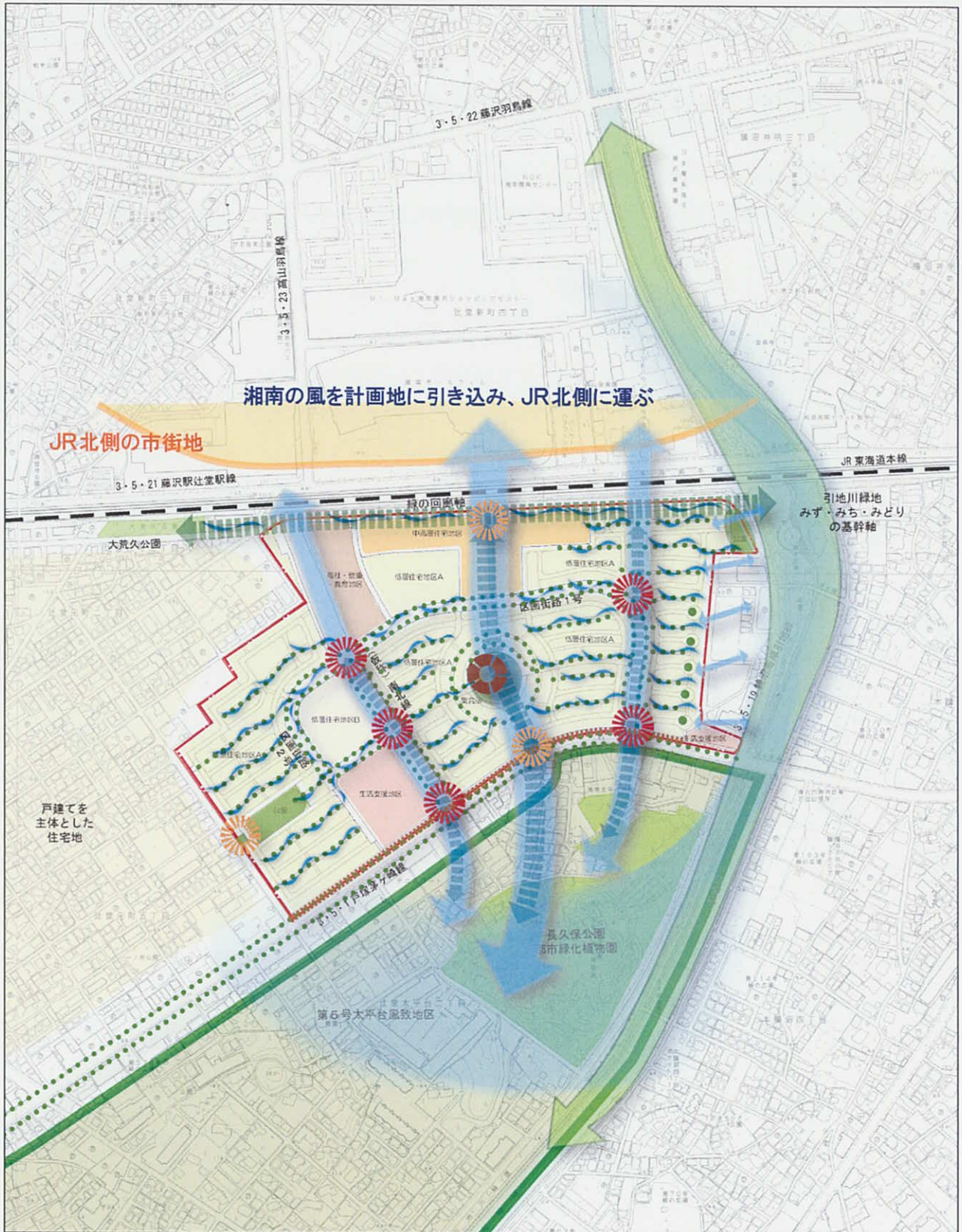
まちの出入口・交差点部は、景観の節目になることから、地区内外及び街区の出入口となる箇所での「ゲート性」、主要な施設の交差点部での「シンボル性」の演出を図ります。

一② 集会所でのエネルギー・マネジメント等のシンボルとなる景観の創出

計画地中央に計画している集会所は公園と一体となり、地区全体のコミュニティ、エネルギー・マネジメントの拠点機能を有する施設としてシンボルとなる景観づくりを行います。

一③ 戸塚茅ヶ崎沿道での環境負荷低減の象徴となる新しい景観の創出

3・5・1戸塚茅ヶ崎線沿道は、環境負荷低減の象徴となる新しい景観づくりを行います。



湘南の風を計画地に引き込み、JR北側に運ぶ

JR北側の市街地

景観形成の骨格

凡例

--- 計画地

--- 緑の軸

⇄ 風の道

ゲート性、シンボル性の演出
 (車・人) (まちの出入口・交差点部)
 (人)

エネルギーマネジメント
 等のシンボルとなる
 景観の演出

環境負荷低減の象徴となる
 新しい景観の創出